



# 子ども大学学生新聞

第7号

子ども大学

かわごえ新聞部

## しっかり伝わるように話す

### アナウンサー・渡辺真理さんの問答授業



八月二日、東京国際大学第一キャンパス314教室で、フリーアナウンサー・渡辺真理さんが学生の質問に答える授業「渡辺真理さんと話そう」がありました。出席者は四年生二四人、五年生四三人、六年生三七人、保護者七七人、小さい子一七人の計一九八人でした。  
一時間目は、記者とアナウンサーの

- Q ちがいないなど、みんなの質問に答えてくれました。アナウンサーは記者が取材したことを皆に伝える仕事だそうですね。授業での質問と答えは、つぎのとおりです。
- Q いつごろからアナウンサーになるうと思つたのですか。
- A 大学四年のとき、就職課でアナウンサー募集の広告を見てからです。
- Q アナウンサーになるために、どんな努力をしましたか。
- A 就職してから、仕事に合わせて努力しました。
- Q 今までやってきた番組で一番良かった番組は何ですか。
- A 今やっている番組です。
- Q ニュースを読む時、どんなことに気をつけていますか。
- A 口を大きく開けて声を出して伝えようと思ひながら話しています。
- Q アナウンサーの仕事で一番大変なことは何ですか。

A 言葉の選び方です。  
**早口言葉を練習**

二時間目も、渡辺真理さんへの質問がたくさん出ました。

Q アナウンサーになるために練習した早口言葉で、難しかったものを教えてください。

A ういろう売りの早口言葉が、一番難しかったです。

Q いままでで印象に残った番組を教えてください。

A 『ニュースステーション』という番組で久米宏さんと一緒に仕事をしたことです。

Q 司会をするときに、どんなことに注意していますか。

A たくさんの人が良かったと思えるようにすることです。

Q アナウンサーになって、つらい出来事がありますか。

A 自分が伝えたいことを伝えられないことです。

Q なぜフリーアナウンサーになったのですか。

A 自分が伝えたいことと会社のやりたいことが違うので、お互いのためになると思つたからです。

Q (浅野璃子記者 杉下小5年、大和日菜記者 星野学園小4年、河野真実記者 寺尾小6年)

\* 渡辺真理さん 一九九〇年、TBSに入社。一九九八年、フリーになる。NHKBSプレミアム「BS歴史観」、BS朝日「恋

するドライブ」に出演中。

### ☆渡辺先生インタビュー

Q アナウンサーになっていなかったら、何になっていましたか。

A 子どもの時から動物が好きだったので、じゅう医さんになっていかもしれません。

Q 今日の授業で楽しかったことは？

A みんなが、たくさん質問してくれた、うれしかった。

(堤彩夏記者 大塚小6年、浅野玲子記者 杉下小5年、山口航記者 中央小5年)

### 広島平和記念式典に参加した飯塚さんに聞く



八月六日、広島で開かれた平和記念集會に参加した本

Q 飯塚さんにとって平和とはなんですか？

A 世界中の人たちが一人も傷つかず(に過)こせることです。

Q (原爆資料館で)原爆を見てどう思いましたか？

A 原爆を落とすような原因を作ったのは日本だから日本も悪いと思つた。

(長坂星名記者 高階北小6年)

# 「ものづくり教室」開く

## 手と頭を使って仕上げる

高校生が「先生」になって子ども大学の学生に教える「ものづくり教室」が八月二四日、川越工業高校でありました。五つの学科の七つのコースで「ものづくり」があり、午前六一人、午後六〇人が参加しました。

### ☆デザイン科 (ステンシルプリント)



〈作り方〉  
自分の好きなステンシル用の型を選び、布用の絵の具を使い、筆でポンポンポンと軽くたたか。好きなデザインに出来たら、ドライヤーで乾かしてアイロンをかけて、出来上がり！ (宮本愛音記者 〓 鶴ヶ島一小6年・写真も)

〈感想〉 宮本記者「妹のTシャツを作りました。最初、きれいに出来るか心配だったけど、高校生の姉さんが、ていねいに教えてくれたので、とても上手に出来ました。出来上がった時は、思った以上にきれいで、とてもビックリしました。妹が喜んで、さっそく着てくれたので、うれしかったです」

### 建築科 蔵づくり店舗の模型づくり

材料は細い木やプラスチックの板でした。それは、すべて高校生が大きさなどを合わせて切ってくれた物でした。小さい物同士をのりでくっつけるのは大変でした。でも完成したら、すごくきれいでできてよかったです。(十重田妃菜記者 〓 福原小6年)

〈感想〉 佐野寛大記者 〓 高階小5年「高校生が楽しくじゅぎょうをしてくれて、ぼくも楽しみながら学べた。もけいの材料などよくわかった」

### 機械科 サンドブラスト

〈作り方〉 ガラスで模様を描きました。やり方は、ガラスに線で絵がかかれたテープをはります。そして周りに新聞紙をまいて、機械で絵がかかれた線に砂をふきかけます。その砂がガラスにきずをつけて、そのきずが絵に見えます。周りに新聞紙を巻くのが少しむずかしかったです。できあがったら、きれいでした。(十重田妃菜記者)

〈感想〉 長坂星名記者「自分の好きなキャラクターができてとても楽しかったです」 小島未来記者 〓 福原小5年

「ガラスに絵をかくとき、かきたい部分だけ、きかいできずをつけるのできました。きずをつけるのが、すごく大変だったけど、楽しかったです」

### 電気科 LEDツリーづくり

〈ざいりよう〉 LED二つ、きばん一つ、プラスチックの小さなつ一つ、

つり糸いっぱい、けっそくバンド二つ、電池ボックス一つ。

〈つくり方〉 ①LEDのいちをきめ、はんだをつける。②つり糸をたばにして、パイプ



にすきまなく入れ、けっそくバンドでしっかりとめる。③つり糸をすべての方向にひろげて、と

める。④電池ボックスにきばんをはりつける。⑤きばんのぶぶんにツリーをあわせて完せい。

〈感想〉 やさしいお兄さんが、わかりやすくおしえてくれたので、よかったです。(土田莉子記者 〓 山田小4年・写真も)

### 化学科 七宝焼き

〈作り方〉 砂のような物が混じったドロドロのものを、スプーンを使って銅に塗る。この時、真ん中は厚く、はしっこは薄く塗るとよい。それを専用の機械を使って八〇〇度〜九〇〇度で焼く。焼き上がったら乾かして、接着剤やボンドでストラップ用の土台に貼り付けて出来上がり！ (宮本愛音記者)

〈感想〉 土田真由香記者 〓 山田小6年

「七宝焼きをつくるのは、とてもおもしろかったです。たかさんの色の七宝焼きができて、とてもいいけいになりましたので、よかったです。また機会があったら、つくりたいです」

### 化学科 液体窒素で遊ぼう

「液体窒素」の授業では、液体窒素を使って花やマシユマロを凍らせたり、触って見たりして液体窒素で遊んだりしました。「面白かったところは花を液体窒素で凍らせて手で割ったことです。凍らせたのに、あまり冷たなくて、とても面白かったです。ビックリした実験もあります。その実験はボールを凍らせて地面に落としてみる実験でした。落としてみると割れてバラバラに砕けました。どの実験もとても面白かったです。(川村弘希記者 〓 中央小5年)

### 化学科 保湿クリームづくり

〈感想〉 河野真央記者「化粧品のことなどよく分かって面白かったし、上手に作れてよかったです」 土田真由香記者「たかさんの薬を使いました。薬を入れてまぜるとき、はじめは水のようにだったけれど、かきまわすうちに、どんどん、どろどろになっていってビックリしました。保湿クリームを作り終わった時、とってもかんたんだなと思ひ、科学の力ってすごいなと思ひました。これをお母さんにあげたら、すごくよろこんでいたので、とってもうれしかったです」